

先週の金曜日、4年生は柴島浄水場というところに社会見学に行ってきました。春に行った大阪城公園の遠足で出た課題をしっかりと覚えていて、行き帰りのマナーなどとてもよくできていたと思います。他の学年でも社会見学に行ったり、探検に行ったりすることがあると思います。やはり、学校で教科書などを使って勉強するよりも、実際のものを見る方がはるかに学習になります。どの学年もそういった機会をこれからも大切にして欲しいと思います。

ところで浄水場という場所は、水をきれいにして、みなさんが毎日使っている水道からでてくるきれいな水をつくっているところです。大阪市にかぎらず、日本ではほとんどの場所で蛇口をひねるときれいな水を使うことができます。でも世界の国々をみてみるときれいな水を使うことができない場所がたくさんあります。

みなさんはSDGsという言葉を聞いたことがありますか？誰ひとり取り残されることなく、人類が安定してこの地球で暮らし続けることができるよう、世界のさまざまな問題を整理し、解決に向けて具体的な目標を示したのが、SDGs（持続可能な開発目標）です。

2015年に国際連合というところで2030年を目指してこの目標を達成しよう、と決められました。

SDGs には、世界を変えるための 17 の目標があります。その中の一つが、「だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していくようにしよう。」です。

水道の設備がない暮らしをしている人は約 20 億人です。トイレがなく、道ばたや草むらなど屋外で用を足す人は約 5 億人です。日本の人口が約 1 億 2 5 0 0 万人くらいですから、とても多くの人たちが安全な水を使うことができていない状況があります。

2030 年までに、だれもがトイレを利用できるようにして、屋外で用を足す人がいなくなるようにする。汚染を減らす、ゴミが捨てられないようにする、有害な化学物質が流れ込むことを最低限にする、処理しないまま流す排水を半分に減らす、世界中で水の安全な再利用を大きく増やすなどの取り組みによって、水質を改善する。などが考えられます。どうしていったらいいでしょう？難しい問題ですが、自分で考えていくことが重要です。今は難しいことであっても、またできることも限られているかもしれません、継続して自分自身で考える必要があると思いますので、一緒に考えていきましょうね。